

■■徹底迎撃・雨&雪対策■■

『ただでさえ寒さ対策が色々面倒なのに、更に雨や雪の対策なんて考えたくもないよ!』というのが大方の参加者のホンネだろう。しかし、実際に近年も悪天候に見舞われた事実がある以上、全くの無策で文字通り運を天に任せるといえるのでは心もとない。

冬の雨や雪に濡れて体調を崩し、せっかくのコミケットを、その後が続く新年を棒に振らないためにも、全員が対策方法を知り、最低限の準備をして参加するようにしてほしい。雨でも雪でも、対策をしていない参加者を避けて降ってはくれないのだ。

——■真実は、いつもひとつ!■——

まず最初に述べておきたいが、雨や雪が降っている中、わざわざ長時間列に並ぶ理由があるのか?という事は、全ての参加者が検討してみるべき命題だろう。並んでいたら降りだしてしまった、というのであれば致し方ないが、夜から降っているような場合であれば、最初から雨の中で並ぶという行為そのものをしていない選択肢はある。

ズバリ、『降っているなら無理に並ばない』のがこの場合の絶対的orrectな解なのだ。

現在のところ、入場待機列は11:30くらいの時間には解消され、入場フリーになっている。始発直後から並んでも、フリーになる前後に並んでも、入場できる時間は1時間前後しか変わらない。その1時間のアドバンテージを得るために、冬の雨の中で4時間待ち続けるだけの明確な目的がアナタにあるだろうか? 漠然と『少しでも早く入らないと回る時間が足りなくなってしまうから』という理由で雨でも早くからの待機を考えているのならば、行列には並ばない決断を下してその分いつもよりゆっくと眠り、朝食をしっかり摂って、待機に必要な装備類も持たずに入場できたなら、その体力的余裕で1時間の差分は十分に挽回可能ではないかということも考えてみてはどうだろうか。

雨の中の待機というのはそれくらい身体への負担が大きく、体力を消耗する上に、雨を十分に防げるだけの装備を用意するにはある程度の資金も必要になる。

それでも並ぶという決心が固いのであれば、途中でリタイヤしなければならないような事態に陥らないようにしっかり準備をして臨んでほしい。

●並んでいる最中に降り出したら…?

一刻も早く雨具を身に着けよう。夏とは異なり、冬の雨は急激に激しくなることはあまりない。しかし気温が低い分、濡れてしまった服は簡単には乾かないので、最優先は人間だ。

とはいえ、夏冬関係なく、待機列の中や混雑した場所では、傘を使うことは避けなくてはならない。前後左右に参加者が密集した待機列では傘の骨の先端が周囲全方位にとって危険であり、また雨水が周囲の参加者やその荷物に流れ落ちるので非常に迷惑であるためだ。待機列中では雨が降り出しても、スタッフが傘をささないようにアナウンスする場合があるので、その際には持っけていても傘を開かないこと。

なので雨が予想される場合でも、傘は折りたたんでカバンにしまえるもの(混み合ったホール内を移動するときには長い傘はひっきりやすく危険で邪魔なため、折り畳み傘の方が望ましい)を持参し、ポンチョなど傘以外のすばやく簡単にはおれる雨具を必ず用意しておこう。

●宍心のWater Proof

最初から降っているにしろ、途中から降り出すにしろ、悩ましいのが雨模様の時の衣服や靴だ。それならば最初から、全天候型のアウトドアスポーツ装備を導入してはいかがだろう。『ゴアテックス』を代表とする透湿防水素材を使用したジャケットは、それ単体で雨具の代用にもなり、防寒性能も優れる。靴も水に浸かっても簡単には浸水しない頼もしさと、地面からの冷えを遮断し、疲労感を低減する履き心地を誇る。カバンだって完全防水を謳う製品はいくつもある。いずれもお値段は張るが、『持っけてよかった!』と思える逸品だ。この機会に自分自身の対コミケット礼装として、課金してみても…?

